

第5学年2組 外国語科学習指導案

日 時:令和2年 11月30日 (月) 5校時

学校名: 益田市立吉田小学校

場 所: 5年2組教室

指導者: 新屋 泉 (JTE)

Alex Chila (ALT)

1 単元名

「ていねいに注文したり、値段をたずねたりしよう」

(NEW HORIZON Elementary English Course Book 5 Unit6 What would you like?)

2 関係する領域別目標

「聞くこと」

イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。

「話すこと (やり取り)」

ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。

「書くこと」

ア 大文字・小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

3 単元の目標

自分の食べたい料理を伝え、相手が注文したい料理を知るために、丁寧な表現を使って注文・会計したりすることについての短い話を聞き、その具体的な情報が分かたり、伝え合ったりできる。また、興味のある料理名を書くためにアルファベットの活字体が書くことができる。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉 What would you like?/I'd like~/How much is it?/It's~ yen. および外国の料理の言い方などその関連語句などについて理解している。</p> <p>〈技能〉 丁寧な表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、聞き取る技能を身につけている。</p>	<p>相手が食べたい料理やその金額を聞くために、丁寧な表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、食事場面の具体的な情報をとらえている。</p>	<p>相手が食べたい料理やその金額を聞くために、丁寧な表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、食事場面の具体的な情報をとらえようとしている。</p>
(やり取り) 話すこと	<p>〈知識〉 What would you like? /I'd like~/How much is it?/It's~ yen. および外国の料理の言い方などその関連語句など、理解している。</p> <p>〈技能〉 丁寧な表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、What would you like?/I'd like~/How much is it?/It's~ yen. および外国の料理の言い方などその関連語句などを用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>自分が食べたい料理を伝えたり、その料理の内容に応じて会計したりするために、メニューやその金額の表現を用いて、自分や相手が食べたいメニューやその金額について、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p>	<p>自分が食べたい料理を伝えたり、その料理の内容に応じて会計したりするために、メニューやその金額の表現を用いて、自分や相手が食べたいメニューやその金額について、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p>
書くこと	<p>〈知識〉 アルファベットの活字体の大文字・小文字を理解している。</p> <p>〈技能〉 アルファベットの活字体の大文字・小文字を書く技能を身につけている。</p>		

※書くことについて目標に向けて指導は行うが、児童の書いたワークシートを用いて形成的評価を行う。

5 単元について

(1) 単元について

本題材は、4年時に学習した”What do you want?”と、この単元で学習する”What would you like?”という表現が会話の中で自然と対比させるような形で登場しており、英語にも丁寧な表現があることに気付かせることから始まる。レストランという身近な場面を通して、様々な料理などの言い方や、欲しいものを丁寧に注文する表現に慣れ親しむとともに、丁寧な言葉での受け答えや、値段を聞いたり、答えたりしながら会計し、自分の考えを伝え合うことを目標としている。これまでの学習で慣れ親しんだ表現や、食べ物・味等の語彙を picture dictionary を使い、表現の幅を広げていく。そして、それらを使い、場に応じた言葉でコミュニケーションをとることの楽しさや必要性を経験することが出来る単元である。また、世界の料理や食文化について学び、自国の食文化について考えることで、多面的に学ぶことができる異文化理解につながる単元でもある。

(2) 児童について

<個人情報保護のため省略>

(3) 指導について

本単元で扱う ”What would you like?” ”I’d like～.”は、4年時の既習事項 ”What do you want?” ”I want～.” と関連している。ビデオや T1 と ALT とのやり取りを見せ、対比させることで、英語にも場に応じた表現があることに気づかせたい。また、それらを聞く活動を十分に行った後、自分が聞き取ったことを繰り返し発話させ、チャンツやソング等でくり返し楽しく練習することで新出表現に慣れ親しませていく。T1 と ALT とのデモンストレーションから、指導者対児童、児童対児童へと、ここでも「聞く→話す」ことの流れを意識しつつ、スモールステップを踏んでいくことで子どもたちが抵抗感なく、また自信をつけて話す(やりとり)活動が進むようにしていきたい。

本単元では、子どもたちが興味・関心のある食べ物扱う。世界のさまざまな国の料理や食事マナーなどについても学習し、異文化に対する興味・関心を高めたい。また、海外の料理名や食べ物に関する語彙の学習については、文字と音のつながりにも着目させながら進めることで文字自体への興味を深める授業にしていきたい。その際には、小グループに分かれて課題に取り組み、グループ内でかわり合いながら理解したことを共有し、深めることで文字についての自信を持たせる指導を行いたい。

6 単元の指導及び評価計画

時	◆目標・○活動【 】	評 価			
		知 技	思 判 表	態 度	評価規準 (評価方法)
1	◆丁寧に注文したり、値段をたずねたりする表現を知る。また、やり取りの内容を理解することができる。				
	【Let’s sing】What would you like? 【Small Talk】値段はいくら?  ○【Let’s Try】キーワードゲーム 【Let’s Chant】①I’d like a hamburger. ②How much is it?  ○【Starting Out】 ・レストランで食事をして会計をするまでの登場人物の会話を聞き、やり取りしながら答えを確かめる。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。

2	<p>◆世界の食文化などについて考え、世界と日本の文化に対する理解を深めることができる。</p> <p>【Let's sing】What would you like? 【Let's Chant】①I'd like a hamburger. ②How much is it?</p> <p>○【Let's Listen①】 ・注文した料理を聞き取る。</p> <p>○【Do you know?】 ・世界の料理クイズに挑戦したり、マナーや食べる方法について考えたりする。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>	
3 (本時)	<p>◆外国の有名な料理を知り、丁寧な表現で注文したり、会計したりするやり取りの内容を理解することができる。</p> <p>【Small Talk】好きな食べ物 【Let's sing】What would you like? 【Let's Chant】①I'd like a hamburger. ②How much is it?</p> <p>○フードフェスティバルのメニューボードを完成させる。 ・グループでクイズに挑戦し、やり取りをしながら答えを確かめる。 ・ALTと注文のやり取りをする。</p> <p>○指導者とALTの注文の会話を聞く。 ・学習のまとめワークシートに記入する。</p>	聞			<p>(<u>知</u>・聞) (知識) What would you like? / I'd like~./How much is it? / It's~ yen. および外国の料理の言い方などその関連語句などについて理解している。 (技能) 丁寧な表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、聞き取る技能を身につけている。</p>	<p>ワークシート  (後日 ペーパーテスト)</p>
4	<p>◆自分の食べてみたい外国語の料理を丁寧な表現で注文したり、会計したりすることができる。</p> <p>【Let's sing】What would you like? 【Let's Chant】①I'd like a hamburger. ②How much is it?</p> <p>○【Let's Listen②】 ・会計の金額を聞き取る。</p> <p>○フードフェスティバルのメニューボードを使って、料理名や値段の言い方を確認する。</p> <p>○お店屋さんごっこをする。 ・店員とお客に分かれ、指導者対子ども、子ども同士で自分の食べてみたい料理を注文し合い、買い物ごっこを行う。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>	
5	<p>◆「My Restaurant」におきたい料理を選んでメニューを作り、料理名を英語で書き写すことができる。</p> <p>【Let's sing】What would you like? 【Let's Chant】①I'd like a hamburger. ②How much is it?</p> <p>○日本でもなじみのある海外の料理クイズに挑戦する。</p> <p>○「My Restaurant」におきたい料理を選び、メニューボードを完成させる。  ・英語を正しく書き写し、値段をつける。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>	

◆ 「My Restaurant」のメニューボードを使い、注文したり、会計したりすることができる。					
6 ・ 7	<p>【Small Talk】ご注文は？</p> <p>【Let's sing】What would you like?</p> <p>【Let's Chant】①I'd like a hamburger. ②How much is it?</p> <p>○ 「My Restaurant」のメニューボードにある料理名や金額の言い方を復習する。</p> <p>・ 全体で金額の言い方を復習後、自分のボードにある金額を練習する。</p> <p>○ お店屋さんごっこをする。</p> <p>・ 店員とお客に分かれ、指導者対子ども、子ども同士で自分の食べたい料理を注文し合い、買い物ごっこを行う。</p> <p>○ 自己評価シートに記入する。</p>				
		や	や	<p>(思)・話(や) 自分が食べたい料理を伝えたり、その料理の内容に応じて会計したりするために、メニューやその金額の表現を用いて、自分や相手が食べたいメニューやその金額について、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p>(主)・話(や) 自分が食べたい料理を伝えたり、その料理の内容に応じて会計したりするために、メニューやその金額の表現を用いて、自分や相手が食べたいメニューやその金額について、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p>	<p>行動観察</p> <p>自己評価シート</p>

7 本時の学習 (3/7時)

(1) 目標 海外の料理の言い方を知り、丁寧な表現で注文したり、会計したりするやり取りの内容を理解できる。

[聞く・知識・技能]

(2) 展開

時間	児童の活動・反応	・指導者の活動		評価規準 (評価方法)
		JTE	ALT	
15	<p>《Warming Up》</p> <p>1) あいさつをする。</p> <p>2) wasted nightsを歌う。</p> <p>3) Small talk「好きな食べ物は何?」</p> <p>・会話の内容を推測し、質問に答える。</p>	<p>・元気にあいさつを交わし、活動の雰囲気づくりを行う。</p> <p>・発音が苦手な児童と一緒に練習したり、必要な児童には声かけをしたりする。</p> <p>・一緒に歌う。</p> <p>・既習事項の単語や文をつかって会話をする。その会話を児童は聞き、やり取りを数名と行う。</p>		
25	<p>《Main Activities》</p> <p>4) めあての確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     店員とお客さんのやりとりを聞いて、海外の料理名とその値段を聞き取ろう。                 </div>	<p>・めあてを確認し、意欲を高めさせる。</p>	<p>・めあてを確認し、意欲を高めさせる。</p>	<p>世界の料理とその英語名を知る。</p> <p>(行動観察・ふりかえりカード)</p> <p>丁寧な表現で注文・会計するやり取りの内容を理解する。 (まとめワークシート)</p>
	<p>5) チャンツや口頭練習で丁寧に注文・会計する表現を復習する。</p>	<p>・視覚的支援のために表現を黒板に貼り、字と音を意識し、口頭練習ができるようにする。</p>	<p>・英語らしい発音になるようつながる音に意識させながら音読する。</p>	
	<p>6) フードフェスティバルのメニューボードを文字と写真を合わせることで完成させる。</p> <p>・小グループを作り、音と文字のつながりを意識して文字を読み解く。</p> <p>・はじめの1分間は自分ひとりで考える。</p> <p>・どうやって読むんだらう?</p> <p>・最初の音がヒントになるんじゃない?</p> <p>・指導者とやりとりをしながら答えを確かめる。</p> <p>・ふりかえりカードに記入する。</p> <p>7) 6) で完成したメニューを使い、店員と客にわかれ、JTEとALTでロールプレイし、やり取りの内容を聞き取る。(2回)</p> <p>・聞き取れた内容をまとめワークシートに記入する。</p>	<p>・配慮を必要とする児童のグループを中心に机間支援をする。</p>	<p>・ALTの英語が伝わりづらい部分にヒントを入れる。</p> <p>・ALTとともにロールプレイをする。子どもの反応を見ながら、繰り返したり、スピードを調整したりする。</p>	
5	<p>《Reflection》</p> <p>8) 今日の学習の振り返りをする。</p> <p>・本時の自己評価を書く。</p> <p>・指導者の話を聞く。</p> <p>9) あいさつをする。</p>	<p>・本時の学習の様子を振り返り、児童の頑張りを認める。</p> <p>・次回の流れを確認する。</p>	<p>・児童の気付きや、態度で良かったところなどを全体に伝える。</p>	

(3) 本時の評価

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	支援を要する状況への手立て
<p>海外の料理の言い方を知り、丁寧な表現で注文・会計する内容を正確に聞き取っている。</p> <p>・What would you like?</p> <p>・I'd like _____.</p> <p>・How much is it?</p> <p>・It's _____yen.</p> <p>○聞き取るべき4カ所すべてが正しく聞き取れている。</p>	<p>海外の料理の言い方を知り、丁寧な表現で注文・会計する内容を概ね正確に聞き取っている。</p> <p>○聞き取るべき4カ所のうち、2カ所が聞き取れている。</p>	<p>指導者が話していることを繰り返し聞き取らせ、聞くことができるようにする。</p>

